

日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会主催 第16回医薬品評価フォーラム

医療 Big Data の活用 –現状と今後に向けた期待–**日時**：2019年4月19日（金）13:00～17:30**場所**：日本薬学会 長井記念ホール（東京都渋谷区渋谷 2-12-15）**参加費**：【事前】一般 3,000 円 学生 1,000 円

【当日】一般 4,000 円 学生 1,000 円（席に余裕のある場合のみ受付）

申込み：2018.12.1（土）～2019.2.28（木）12:00 まで

ただし定員（200名）に達し次第登録受付終了

HP (<https://16th-iyakuhin-hyoka-forum.jimdofree.com/>) からご登録ください**プログラム：敬称略**

※変更の可能性もございます。

13:00～13:05 **開会挨拶**

医薬品評価フォーラム代表世話人 豊島 聡

【第一部：医療 Big Data 活用への期待】

13:05～13:35 **なぜ「次世代医療基盤法」か**～現場から提供されるデータの利活用の成果が
現場へ還元される社会全体の好循環を目指して～

内閣官房健康・医療戦略室 田中 謙一

13:35～14:05 **（仮）医療 Big Data の活用に関する海外から学ぶ未来**

国際医療センター 大津 洋

14:05～14:35 **製薬産業から見た医療 Big Data 活用の課題と提言**

日本製薬工業協会 医薬産業政策研究所 森田 正実

14:35～14:50 休憩

【第二部：医薬品開発における医療 Big Data の活用に向けての取り組み】

14:50～15:10 **AI×ビッグデータで挑む医薬品開発のパラダイムシフト**

エーザイ株式会社 hmc データクリエーションセンター データサイエンスラボ 青島 健

15:10～15:30 **（仮）臨床試験における Real World Data 活用における疾患レジストリとの協働**

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 臨床評価部会/武田薬品工業株式会社 田之頭 淳一

15:30～15:50 **アウトカム定義のバリデーション研究について**

–AMED バリデーション研究の結果–

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 医療情報活用部 堀木 稚子

15:50～16:10 **製造販売後データベース調査の実例と取り組み**

MSD 株式会社 下寺 稔

16:10～16:25 休憩

16:25～17:25 **パネルディスカッション**

司会：東海 康之（グラクソ・スミスクライン株式会社）/前田 政由紀（セルジーン株式会社）

パネラー：大津 洋、森田 正実、青島 健、田之頭 淳一、堀木 稚子、下寺 稔

17:25～17:30 **閉会挨拶**

レギュラトリーサイエンス部会長 矢守 隆夫